



川下小 開校150周年だより

令和5年4月号

No. 1

記念事業実行委員会

令和6年3月1日 川下小学校は開校150周年を迎えます



川下小学校は、令和6年3月1日をもって、開校150周年という記念すべき日を迎えます。

明治5年(1872年)、明治政府は「^{むら}邑に不学の戸なく家に不学の人なからしめん事を期す」との精神の下、学制を發布し、近代教育制度の創設に着手しました。

これに伴い、ここ川下地区では明治7年(1874年)3月に、中津村に中津小学、車村に車小学、向今津村に向今津小学が設置されました。

中津小学は、吉田平左衛門(吉田二鳩翁)が自宅で近くに住む子どもを教育したことに始まりました。車小学は、清誓寺の付近にあって岩国の佐伯という人が教授にあたっていたそうです。向今津小学は、坂田又五郎が近傍の子どもを集めて教育していました。

当時の学校は、江戸時代の寺子屋のような私塾的であり、名頭(読み書きの教材)、国尽(習字の手本)、商売往来、四書五経などが教えられていたそうです。そのうち学制発布に伴い、文部省から次々と新しい教科書が与えられましたが、欧米の書物の翻訳が多かったため、子どもたちには難解で、幼い頭を悩ませたそうです。 [参考:百年のあゆみ]

川下小学校開校150周年という節目にあたり、多くの先輩方が払われたご苦労に感謝の意を表するとともに、今後も学校、家庭、地域とが連携・協働し、より一層発展していくことを祈念して、下記のとおり記念事業実行委員会を結成しました。

皆様方には、記念事業の実施に際しまして、格別なるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

実行委員長	松田一郎
副実行委員長	竹中淳貴 館澄子
理事	為重英雄 渡邊博明 大溝誠子 松岡寛雄 清水光晴 白銀屋祐子 田村浩己 黒崎泰寛
顧問	河野達信